

会議名 ニセコ町学校運営協議会推進委員会（第7回 平成28年度・第3回）

開催日 平成28年10月5日	会議時間	開会 午後7時00分 閉会 午後8時45分
会議場所 ニセコ町役場 第2庁舎 大会議室	記録者 ニセコ中学校事務職員 三坂 宜巳	
出席委員：渡邊委員、萬谷委員、矢島委員、橋元委員、本田委員、井上委員、山野委員、酒井委員、飯田委員、小中委員、田邊委員、日野浦委員、菊地委員、加藤委員、高瀬委員 教委：淵野係長、笹森主事、三坂		

会議内容

<p>1. 開会</p> <p>2. 教育長あいさつ 本町でのCSは学校を応援するものである。学校にとって、地域にとって良かったと思えるものにしたい。そして、学校・家庭・地域それぞれの役割を持ち子どもたちの成長を総ぐるみで支えるものにしていきたい。</p> <p>3. 委員長あいさつ 来年度の導入に向けて、具体的な制度設計について話し合いを行う。みんなで熟議しながらニセコらしい制度をつくり上げよう。</p> <p>4. 議事 (1) 経過報告 8月10日コミュニティ・スクール研修会倶知安会場への参加報告</p> <p>(2) 熟議「ニセコスタイルのコミュニティ・スクール検討」 これまでの学校運営協議会推進委員会での議論や課題となっている点をまとめたシートを各委員がそれぞれ記入し、このシートを基にニセコ町のコミュニティ・スクールについて協議を行った。制度設計に向けた。</p> <p><Aグループ発表></p> <ul style="list-style-type: none">・設置方法はそれぞれの学校に設置するが、同じ人を委員とする（推進委員会と同様）。・ニセコ高校は町外からの通学する生徒もいるので、「ニセコに誇り…」とはならないので、高校のみ別で設置という意見があがった。・委員構成について、PTA、学校評議員、学校教員、学識経験者、CS推進委員、あそぶっく関係者、元PTA、親交会、公募などさまざまなジャンルから15～20名程度。年齢や男女の比率が重要である。・協議内容は、学校評価を行うほか、フォーラムの持ち方や学校活動への協力支援について考えていく。
--

- ・教職員の任用に関する意見は、よい影響と悪い影響が考えられる。
- ・事務局の設置が必要だ。
- ・3月に次年度の基本方針を承認するスケジュールとしたい。

<Bグループ発表>

- ・1つの学園体として共有するために合同設置。ニセコの地域全体の教育の源流を考える場であり、その内容を基に各学校で特色ある活動を進めてもらう。
- ・委員については、学校代表、保護者代表、地域代表、関係行政代表、ボランティア団体、商工会代表、子育て支援関係、シルバー人材。代表は「長」ではなく、現場で知っており動ける人としてほしい。
- ・協議内容は、子どもの地域への参加方法。
- ・その他、コーディネーターや事務局の設置は必須ではないか。

<Cグループ発表>

- ・合同設置とそれぞれの特徴を活かす学校ごとの設置という2つの意見に分かれた。学校ごとという意見は学校規模や校種にあった方がよいという考え方。合同設置は詳しい学校事情に精通していなくても、町全体のことを考えて取り組もうという考え方。
- ・委員構成は、近藤独自の団体（東部ふれあいクラブ）、老人クラブ、産業界（観光商工農業）、外国人コミュニティ、子ども（生徒会）といった意見も。
- ・学校の基本方針の承認を行うという点から、委員の責任は重く選任は重要である。
- ・協議内容は、学校の教育目標の理解・共有・課題の把握・調査・研究。ふるさとを学ぶための学習のあり方。学校の取組を進めるため、学校・家庭・地域の橋渡しのための戦略づくり。共有するための企画・立案。

(3) 今後のフォーラム参加予定

資料により確認

(4) まちづくり町民講座

11月8日（火）ニセコスタイルの教育について、CSマイスター四柳千夏子氏を講師に研修会を行う。

(5) 次回の推進委員会について

10月24日開催。具体的な制度設計について引き続き協議を行う。

5. 閉会